

このテキストについて

- ・このテキストでは、12章にわたり、御言葉を中心として、神の子に与えられているアイデンティティーについて学んでいきます
- ・各章は、3つから4つのポイントに焦点を当て、扱われている御言葉を一つ一つ深く吟味していく質問形式になっています。
- ・質問の答えはすべて引用されている御言葉から見付けられます。
- ・「聖書は、聖書を通して理解する」原則を用い、関連聖句が多く用いられています。それらの箇所を通しても、一つの真理を多角的に理解できるようになっています。関連聖句が多い部分も、時間をとってじっくり学んでみて下さい。
- ・付録として、すべての質問に関する解答例がありますので、必要に応じてご利用下さい。
- ・PQとは、Personal Questionの略で、時には、御言葉を解釈した後、自分自身に当てはめて考える質問があります。神の言葉を知識として知るだけではなく、「あなた」の人生に与えられた真理として、「適用」することを重視しています。神に心を探っていただきながら、祈りと共に一つ一つの質問に答えてみて下さい。付録の解答例では、PQ部分はあくまでも「例」ですので、一つの適用として参考までにお使い下さい。
- ・このテキストは、一人で学ぶことも、スモールグループでの交わりや聖書研究として利用することも可能です。
- ・グループで利用される場合には、あらかじめ質問に答えておくと、互いから学び合う前に、自分自身がまず真理に向き合い、考えて準備することができます。
- ・一度のグループミーティングで一章を終わらなければいけない、というような規則を作るのではなく、御言葉を一つ一つ吟味し、また適用に関して実際の信仰生活にしっかり当てはめながら、個々のペース、また一緒に学んでいるグループのニーズとペースで進めて下さい。

ご質問、ご意見等ございましたら、いつでもセカンドレベル・ミニストリーまでお問い合わせ下さい。

dainidankai@secondlevel.org

Chapter 1- 義とされている

この章の目的:

キリストの贖いによる救いの偉大さを知る。神との個人的な関係において、救われた自分に神の「義」が与えられていることを確信する。「義とされている自分」が、どれほど神の豊かなご計画にもとづくものであるかを知る。それによって、救われていることへの感謝を深め、救いを達成することができるのはキリストのみであると知る。

テーマ聖句:

ローマ人への手紙 3章23-24節

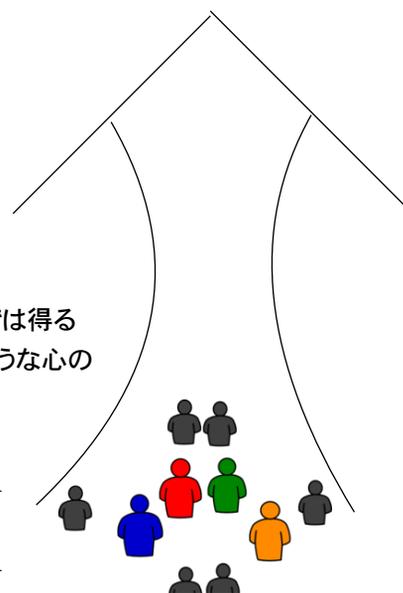
「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、
ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」

エクササイズ:

①この世の基準で見る「良い生き方」、あるいは、この世が求める「正しさ」「正しい生き方」として、例えばどのようなものがありますか？ 矢印部分に書き出してみましょう。

例:成功すること、大きな家を持つこと、等

②神が持っておられる「義」、そして「神が求めておられる正しさ」は、人の力では得ることができません。神が与えようとしておられるものを受け取るために、どのような心の状態であるべきだと思いますか？



「義」とは、神のみがもつ、聖さと正しさのことです。人間は本来、罪ある存在ですから、義である神のご性質からは180度異なり、かけ離れた所にいます。だからこそ、神ご自身が、イエス・キリストを通して救いの道を備えて下さり、信じる者が神のみもとへ近づくことができるようにして下さいました。「義とされている」とは、神の基準から見てあなたは「正しい」状態にあるということです。壊れていた神との関係が修復され「正しい」関係の中にいるのです。また、「義」という字は、上が「羊」で、下が「我」とあり、クリスチャンにとっては興味深いものです。傷のない子羊であるキリストが、私たちのために十字架で罪を負って下さった、だからこそ私たちは義とみなされている、という真理そのものが、「義」という漢字の意味を表しています。

反対に、「不義」とは、神に喜ばれない状態です。神に対する反逆を指します。それゆえ、神の怒りを引き起こします。ローマ書の1章18節には、「不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されている」、2章8節には「党派心を持ち、真理に従わないで不義に従う者には、怒りと憤りを下されるのです。」とあります。

「義」と「不義」は相入れない性質です。救いを受け入れた者達は神との関係を持つことができ、罪からの完全な赦しが与えられ、「不義」の状態から「義」の状態へと移りました。もちろん完璧になったり、罪を犯さない人間になったわけではありませんが、イエス・キリストを信じる信仰によって、神は私たちを正しい者(義とされた者)と認めて下さるのです。テーマ聖句にあるように、「働なしに」つまり、私たちが何かをしたからではなく一そうして下さるのです。

あなたは、キリストにある罪からの赦しを自分のものとして心に受け入れましたか？ もしそうなら、あなたはもうすでに義と認められているという事実を確認しましょう。義とされていないならば、義である神に近づくこともできませんし、神との交わりも持てません。「主は、ご自分の義のために、みおしえを広め、これを輝かすことを望まれた。」(イザヤ42章21節)、「主は御救いを知らしめ、その義を国々の前に現わされた。」(詩篇98編2節)とあるように、主ご自身が義であることについても御言葉を通して明確に語られています。「義とされていること」への理解を深め、神の偉大なる救いのご計画をほめたたえましょう!

①キリストへの信仰によって与えられる「義」

ピリピ人への手紙3章8b-9節

「私には、キリストを得、また、キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。」

ロ-マ人への手紙5章1節

「ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。」

Q1: どのような「義」が存在すると書かれていますか？

Q2: 「義」とは誰が与えるものですか？ また、「義」とは、何にもとづいて与えられるものですか？

Q3: 「義」を持っているなら、どのような者として神に認められますか？

—Personal Question: あなたは自分自身を、「キリストの中にある者」「義とされた者」と見ることができますか？もしできていないのなら、それはなぜだと思いますか？

—PQ: そのことは、あなたにどのような意味をもたらしますか？

Q4:何にもとづいて、「義」を持っていると書かれていますか？

—PQ: あなたは、神に責められる(責められている)と思いますか？ その理由はどうしてですか？ (イザヤ55章6-9節、参照)

ローマ人への手紙3章23-24節

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」

Q5: 私たちが罪の赦しを必要とする理由は何ですか？ (マタイ5章20節、参照)

—PQ: あなたは、自分が罪人であることを認められますか？ 神と自分の立ち位置について再度考えてみましょう。

Q6: 「義」と認められるために、何か人間側からすべきことがありますか？ (エペソ2章8-9節、参照)

Q7: コロサイ1章14節とエペソ1章7節も見て下さい。「贖い」が、どのような言葉で置き換えられていますか？ (贖いについては、Chapter 5の②を参照)

—PQ: あなたは本当にイエス・キリストを自分の救い主として信じていますか？ もしまだであれば、自分が罪人であることを認め、悔い改める決心をしましょう。キリストの十字架であなたのすべての罪、不義がゆるされていることを信じましょう。何か努力をして、救われ、義とされるわけではありません。キリストを信じる者は、キリストの内にある者とされ、その個人的な関係において義と認められるのです。

②罪から解放されている「義」という状態

ローマ人への手紙3章20-22節 (リビングバイブル)

「さて、おわかりでしょうか。おきての命じることを実行して、神様に正しい者と認められようとしてもむだです。私たちが神様のおきてを深く知れば知るほど、自分が従っていないことが明らかになるからです。神様のおきては、私たちに、自分が罪人であることを自覚させてくれるだけです。」

しかし今や、神様は、天国へ行く別の道を示してくださいました。その新しい道は、「善人になる」とか、神様のおきてを守ろうと努力するような道ではありません。神様は今、「もし私たちが、イエス・キリストを信じきるなら、あなたがたを受け入れ、『罪のない者』と宣言する」と言われます。

どんな人間であろうと、私たちはみな、キリストを信じきるという、この方法によって救われるのです。」

Q8: 律法(おきて)を実行することによって、義とされ(神に正しい者と認められ)ますか? (テトス3章5節、参照)

Q9: 律法(おきて)を知ることによって、何が起こりますか?

—PQ: あなたにも、何かの基準を目指して努力する際、かえって罪や自分の足りなさに気がついた経験などはありますか?

Q10: 天国へ行く救いの道とは、どのような道ですか?

Q11: 「罪のない者と宣言されること」、つまり、「神の義」は、誰に与えられるものですか?

コリント人への手紙第二章21節

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。
それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。」

Q12: なぜキリストが、私たちの代わりに罪とされることが必要なのですか?

Q13: キリストが十字架で私たちの身代わりとなった目的は何でしたか?

ローマ人への手紙8章1、2節

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。
なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」

Q14: キリスト・イエスを信じる者は、罪との関係がどのような状態だと書かれていますか? (ローマ6章7、12、14節、参照。)

Q15: 罪と死の原理と対照的なものは何ですか?

Q16: あなたがキリストを信じているなら、どのような状態にあると書かれていますか? (コロサイ3章3節、1章13節、ガラテヤ2章20節、参照)

—PQ:あなたは、今何か罪悪感を抱えていることがありますか？ もしそうなら、あなたはすでに解放されていることを、この御言葉から確信しましょう。そして、未解決の問題があったとしても、主に委ねていきましょう。

—PQ:このような霊的な状態を知っても、罰せられるのではないかという恐れや不安があるでしょうか？ もしあるなら、この御言葉を信頼し、神の完全なる救いに再度感謝しましょう。もしないなら、この真理に見られる神の愛と慈しみを賛美しましょう。

③「義」の中に生きる

エペソ人への手紙4章22-24節

「その教えとは、あなたがたの以前の生活について言うならば、人を欺く情欲によって滅びて行く古い人を脱ぎ捨てるべきこと、またあなたがたが心の霊において新しくされ、真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出された、新しい人を身に着るべきことでした。」

Q17:この箇所では「古い人」の性質として、どのようなことがあげられていますか？（その他、ガラテヤ5章19-21節、コロサイ3章5-10節、エペソ2章1-3節、ローマ8章12-13節、参照。）

—PQ: あなた自身の古い性質について考えてみましょう。キリストを信じる前の古い性質に、どのようなものがあげられますか？

Q18:新しい人とは、誰が造り出すのですか？（コロサイ1章13節、参照。）

Q19:ここで見られる神のご性質は何ですか？

Q20:「新しい人を着る」ために、「古い人」をどうするべきだと書かれていますか？（ローマ13章14節、ガラテヤ3章27節、参照。）

イザヤ書42章6節

「わたし、主は、義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、あなたを見守り、あなたを民の契約とし、国々の光とする。」

Q21:「義」とされたことには、目的があります。主は、義をもって何をされますか？

—PQ:この箇所から、主はどのようなお方だとあなたは感じますか？ また前の箇所、42章5節も読んでみましょう。

—PQ:あなたを義として下さった主を見ると、どのような感謝が生まれますか？

—PQ:義とされたあなたは、「国々の光」です。エペソ5章8節も見て下さい。あなたはどのように主の栄光を現わす光となっていますか？ あるいは、これからなっていくと思いますか？ 具体的な例をあげてください。パウロのように、キリストによって変えられ、その恵みによって生きていく決断をしましょう(ガラテヤ5章16節、ローマ6章12節、第一コリント15章10節、参照)

適用:

1—自分が「義とされている」ことに確信が持てない時がありますか？それはどんな時ですか？ もし信じるのが難しいと思う場合、もう一度御言葉に立ち返り、救われた者に与えられているこの素晴らしい真実を自分のものにできるように、祈りましょう。

2—自分が「義とされている」ことに感謝できる点をあげ、主に感謝の祈りをささげましょう。

3—この章から、自分が瞑想し、確信すべき御言葉を一つ選び、書き出して下さい。それをあなたの今週の暗唱聖句とし、覚えるだけでなく、この御言葉を自分のものとしてできるように使っていきます。神の子として、義とされているという真実を握り、御霊によって歩んでいきましょう。